

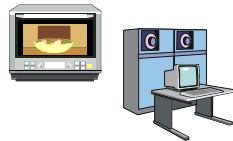


## 「電子化」って、何だ？

「〇〇の電子化」が流行しています。「電子」と言  
って、まず思い浮かぶのは「電子レンジ」でしょうか。  
“電子〇〇＝電気仕掛けの〇〇”(家電品)というの  
が、一般的な解釈かと思えます。

しかし、最近流行の電子化は、家電の枠を大きく飛  
び越して、ビジネスの世界に浸透しつつあります。

### 「電子化」あれこれ



#### ～株券の電子化～

来年の1月実施を目標に、上場会社の株券が廃止さ  
れ、その権利に関する情報を、証券会社等が管理する  
口座に「記録」として保存することになりました。それ  
により、現在ある「紙」の株券は、実施日以降“無  
効”となります。

・・・何がメリットなの？・・・

盗難や紛失が防げ、取引の手間や時間も短縮でき  
るだけでなく、印刷・保管・運搬・印紙税などのコスト  
も抑えることができます。

#### ～国税電子申告・納税～ (e-Tax)

国税の申告・納税・申請・届出などが、税務署に行  
かずして行える国営のシステムです。「紙」の申告書  
を、専用のソフトウェアを使って、インターネット経  
由で提出することになりますので、情報の機密を保持  
するために、様々な工夫が施されています。

・・・何がメリットなの？・・・

実際の申告作業は、本宮会計センターが行  
っておりますが、お客様のメリットとしては、

- ・申告の際の手続きが簡素化される。
- ・早い還付 などがあります。



「イータ君」

#### ～電子公証制度～

会社設立の際の定款を、フロッピーディスクなどに  
電子データとして作成すると、必要な収入印紙(4万  
円分)が不要となります。「紙」ではないので印紙を  
貼る必要がない、ということです。

また、法務省のオンライン申請を利用することによ  
って、不動産や会社の登記簿謄本を取得することも可  
能です。その際の手数料も、大幅に軽減されています。

いずれを見ましても、キーワードは「紙」です。

## オフィスで出来る「電子化」

オフィスで出来る電子化で、最も身近なものは、文  
書のペーパーレス化であることは、今も昔も変わりあ  
りません。

社内に溢れる紙・紙・紙・・・。用紙代やトナー・  
インク代など、紙を出力するためのコストは目に見え  
て分かります。それに加えて、どこに、何があるかを  
探す時間に係るコスト、大量の紙を廃棄するためのコ  
ストも考えなければなりません。そして、E C Oも。

今からできる方法として、  
以下の2点をご紹介します。



#### ～文書を共有する～

見るだけで良い文書は、印刷しないで、みんなで“閲  
覧”するようにはいかがでしょうか。

手順1: WordやExcelで作成したファイルを、  
みんなが参照できる保管場所[共有フォル  
ダ]に保存する。

手順2: 必要に応じて、直接の書き換えができない  
様に制限をかける。  
(誤って修正してしまうことを防ぐ。)

手順3: 保存期限を決めて、古いファイルはバック  
アップを取ってから削除する。  
(紙と同じ。たくさんあると探せない。)

#### ～スキャナを活用する～

WordやExcelなどの文書はパソコンに保存できま  
すが、元々が“紙”の文書については、「スキャナ」  
で取り込んでしまいましょう。

オフィスに導入されている、いわゆる「コピー機」。  
操作パネルをよく見てみると「スキャナ」の機能が入  
っている場合があります。せっかくあるのでしたら、  
これを使わない手はありません。

コピー機に付属(一部有償)されている「ソフトウ  
ェア」を活用すると、さらに便利です。代表的なもの  
としては、以下の製品があります。一度、探してみ  
てはいかがでしょうか。

- |       |              |           |
|-------|--------------|-----------|
| リコー   | “Ridoc Desk” | (リドックデスク) |
| ゼロックス | “DocuWorks”  | (ドキュワークス) |

私どもでは、効率的な文書管理のご提案も致して  
おります。お気軽にご相談くださいませ。

**編集後記** コミュニケーションの基本は「直接会うこと」。経営手腕が有名な“カルロス・ゴーン”氏が、新聞のコラム欄に寄せた言葉です。もちろん、多忙な氏のことですから、手紙や電子メール、電話などの様々な手段を駆使していることは容易に想像できます。しかし、重要な案件ほど、直接会って話をするのだと氏は言います。機械や技術の活用は、あくまでも手段の一つです。目的実現のための手段として、何が適切か。そのようなご提案ができるよう、精進致します。(郡司)